J613-M6983-01 Rev.D 050427

Allied Telesis

CentreCOM® FS808M/FS816M リリースノート

この度は、CentreCOM FS808M/FS816M（以下、CentreCOM を省略）をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。
このリリースノートは、取扱説明書とコマンドリファレンスの補足や、ご使用の前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。
最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1　ソフトウェアバージョン　1.0.2

2　本バージョンで修正された項目

ソフトウェアバージョン **1.0.1** から **1.0.2** へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

起動時まれに、Watchdog による意図しないリブートが発生する場合があることを修正しました。
リブートを繰り返す場合は、起動時の Boot 画面より、Xmodem によるファームウェアのダウンロードを実行してください。Xmodem によるダウンロード方法については、取扱説明書をご参照ください。

3　バージョン 1.0.0 から 1.0.1 へのバージョンアップで修正された項目

ソフトウェアバージョン **1.0.0** から **1.0.1** へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

3.1　ポートミラーリングのソースポートを設定する場合、すでにミラーポート（デスティネーションポート）に設定されているポートをソースポートとして設定したときにエラーメッセージが表示されませんでしたが、エラーメッセージを表示するように修正しました。

3.2　SNMP の MIB-II オブジェクトで、snmp グループの snmpEnableAuthenTraps の値が実際の値とは異なることがありましたが、これを修正しました。

3.3　SNMP の MIB-II オブジェクトで、ip グループの ipNetToMediaIfIndex の値を一覧表示させた場合と詳細表示させた場合で値が異なることがありましたが、これを修正しました。

3.4　約 5800 文字以上改行されていない連続した文字列を持つファイルを本製品にダウンロードし、SHOW FILE コマンドでファイルの内容を表示すると本製品がリブートしていましたが、これを修正しました。

3.5　タグ付きポートをポートミラーリングのソースポートに指定した場合、本製品がリブートする場合がありましたが、これを修正しました。

3.6 タグ VLAN とポートトランキングが併用できませんでしたが、併用できるように修正しました。

3.7 BPDU 透過機能有効コマンド（ENABLE SWITCH BPDUFORWARDING）の実行後、設定内容を保存し、そのファイルを起動時設定ファイルに設定して本製品を再起動した場合、BPDU 透過機能が有効になりませんでしたが、これを修正しました。
なお、BPDU 透過機能が有効の場合、PAUSE フレーム受信によるフローコントロールが有効になりませんが、これは本製品の制限事項となります。

3.8 BPDU 透過機能が無効の場合、PAUSE フレーム受信によるフローコントロールが有効になりませんでしたが、これを修正しました。

3.9 本製品に設定した IP アドレスと同じネットワークアドレスのディレクティドブロードキャストを受信しても、本製品が応答しないことがありましたが、これを修正しました。

3.10 SHOW LOG コマンドで表示されるログメッセージの日付が、497 日経過後、正しくカウントされない場合がありましたが、497 日経過後は 0 に戻るように修正しました。

3.11 トランクグループに所属するポートのステータスを、SNMP の MIB-II オブジェクトの interface グループ ifAdminStatus で「down」に設定変更できましたが、変更できないように修正しました。

3.12 本製品から指定 IP アドレスに対して PING コマンドを実行し、失敗した場合に表示されるメッセージに誤記がありましたが、これを修正しました。

3.13 SHOW SNMP コマンド実行時に表示される SNMP（GET/SET）のリスニング UDP ポート番号の項目名を、SNMP Manager Listen Port から、SNMP Agent Listen Port に修正しました。

3.14 SET SWITCH MIRROR コマンドで、ミラーポートの設定および解除を実行した後、ADD VLAN コマンドで全ポートを同じ VLAN に追加しようとすると、エラーメッセージが表示され設定できませんでしたが、これを修正しました。

3.15「SET VLAN=default PORT=all FRAME=TAGGED」コマンド実行時に、エラーメッセージが表示され設定できませんでしたが、これを修正しました。

3.16「SHOW CONFIG DYNAMIC=vlan」コマンド実行時に、本製品の動作が不安定になることがありましたが、これを修正しました。

3.17 SET SNMPTRAP LISTENPORT コマンドで SNMP（TRAP）のリスニングポートを変更した後、SNMP マネージャーから GET で情報を取得できませんでしたが、これを修正しました。

3.18 SHOW ACCESS FILTER コマンドで、TELNET を指定した場合に表示されるメッセージに誤記がありましたが、これを修正しました。

3.19 syslog サーバーに転送されたログを参照すると、メッセージの日付がシステム起動時からの日数になっていないことがありましたが、これを修正しました。

3.20 PROTOS テストと本製品宛通信を長時間実施していると、本製品がリブートする場合がありましたが、これを修正しました。

4 本バージョンでの制限事項

ソフトウェアバージョン **1.0.2** には、以下の制限事項があります。

4.1 フローコントロール機能について

参照「コマンドリファレンス」/「スイッチング」

BPDU 透過機能が有効の場合、PAUSE フレーム受信によるフローコントロールは有効になりません。

4.2 スタティックエントリーの登録数について

参照「コマンドリファレンス」/「フォワーディングデータベース」

スタティックエントリーは最大 512 件まで登録可能ですが、MAC アドレスの値によっては、512 件まで登録できないことがあります。

5 取扱説明書・コマンドリファレンスの補足・誤記訂正

同梱の取扱説明書（Rev.A）、および CD-ROM に収録されている「CentreCOM FS808M/FS816M コマンドリファレンス 1.0.1（Rev.B）」の補足事項、または誤記訂正です。

5.1 フォワーディングデータベースの登録数に応じた画面表示の違いについて

参照「コマンドリファレンス」/「スイッチング」

参照「コマンドリファレンス」/「バーチャル LAN」

次のコマンドを実行する際、フォワーディングデータベースに登録されている MAC アドレスの数に応じて画面に表示されるメッセージが異なります。

- ○ ADD VLAN
- ○ DELETE VLAN
- ○ CREATE SWITCH TRUNK
- ○ ADD SWITCH TRUNK
- ○ DELETE SWITCH TRUNK

たとえば、MAC アドレスの登録数が 100 件未満の場合、次のように表示されます。

```
Manager > create switch trunk=uplink port=2 Enter

 Operation successful.
```

しかし、たとえば MAC アドレスの登録数が 100 件以上の場合は、次のように表示されます。処理の経過ごとにピリオドが増えていきます。

```
Manager > create switch trunk=uplink port=2 Enter
FDB Clear.....................................
 Operation successful.
```

MACアドレスの数が多い場合、この処理に、最長で約2分かかることがあります。

5.2 無効のポートでの受信カウンターについて

参照「コマンドリファレンス」/「スイッチング」

ポートの状態を無効にしている場合であっても、そのポートで最初にデータを受信した際だけ、カウンターが1パケット分カウントアップされます。データが何パケットであっても、カウントアップされるのは1パケット分だけです。データ自体は転送されません。

5.3 ポートミラーリングでのフローコントロールについて

参照「コマンドリファレンス」/「スイッチング」

ポートミラーリング機能でもフロー制御が行われます。ミラーリングのソースポートを複数ポート以上で指定し、ミラーリング機能を有効に設定している場合、ミラーポートで輻輳すると、ソースポートからPAUSEフレームが送信されます。ソースポートとして設定されていないポートからはPAUSEフレームは送信されません。

5.4 タグなしポートからの送信パケット長について

参照「コマンドリファレンス」/「スイッチング」

タグなしパケットには、スイッチ内部で4Byteのタグが付加されます。このため、SHOW SWITCH PORT COUNTERコマンドで表示されるifInOctets（受信オクテット数）とifOutOctets（送信オクテット数）には、実際に受送信した総オクテット数よりも大きな値が表示されます。
送信時には、ポートのタグ付きまたはタグなしの属性に応じて正しいパケットが送信されます。つまり、タグ付きポートから送信されるパケットには4Byteのタグが付加されたまま送出され、タグなしポートから送信されるパケットからは内部処理で付加された4Byteのタグは削除されてタグなしパケットとして送出されます。
たとえば、64Byteのタグなしパケットを受信した場合、スイッチ内部では68Byteのパケットになりますが、タグ付きポートからは68Byteのタグ付きパケットとして送出され、タグなしポートからは64Byteのタグなしパケットとして送出されます。

5.5 アクセスフィルターの設定内容の確認

参照「取扱説明書」98ページ

手順14（97ページ手順7～9の設定内容を確認するコマンド）の記載に誤りがありましたので、以下のとおり訂正してお詫びいたします。

14 SHOW ACCESS FILTERコマンドでグローバルグループの設定を確認します。

```
Manager > show access filter=global Enter
GLOBAL:
 Access Filtering .... Enabled
```

```
Port ................ -
Default ............. Discard
Entry    IP                  MASK                Action      Port
-----------------------------------------------------------------
1        192.168.10.100      255.255.255.255     PASS        14
-----------------------------------------------------------------
```

5.6 ソフトウェアのバージョンアップの注意事項

参照「取扱説明書」73、107 ページ

参照「コマンドリファレンス」/「アップロード・ダウンロード」

○ FTP にて、ソフトウェアをバージョンアップする場合、FTP クライアントソフトのタイムアウトの設定によっては、ソフトウェアのダウンロード途中でタイムアウトと判断され、FTP セッションが切断されてしまうことがあります。ただし、この場合でも、ソフトウェアのダウンロードは正常に終了しています。

コンソールまたは Telnet で本製品にログインした状態で FTP を実行すると、ソフトウェアのダウンロード終了時に、「Completed」のメッセージが表示されますので、ダウンロードが終了したことを確認できます。

○ FTP/TFTP を使用してソフトウェアをバージョンアップする場合は、ファイルのダウンロード終了後、本体前面の FAULT LED が消灯していることを確認し、本製品を再起動してください。取扱説明書などにも記載しておりますが、本製品の再起動後にソフトウェアが有効になりますので、必ず再起動して頂きますようお願いいたします。

Xmodem を使用してソフトウェアをバージョンアップする場合は、再起動する必要はありません。

6 コマンドリファレンスについて

最新の日本語版コマンドリファレンス「CentreCOM FS808M/816M コマンドリファレンス 1.0.1（J613-M6983-03 Rev.B)」は弊社 Web サイトに掲載されています。
本リリースノートは、上記のコマンドリファレンスに対応した内容になっていますので、お手持ちのコマンドリファレンスが上記のものでない場合は、弊社 Web サイトで最新の情報をご覧ください。

※パーツナンバー「J613-M6983-03 Rev.B」は、コマンドリファレンスの全ページ（左下）に入っています。

http://www.allied-telesis.co.jp/

アライドテレシス株式会社